ニュースレター

2012 年 2 月発行第 2 巻第 11 号通巻第 20 号

大阪・サンパウロ姉妹都市協会の会員のみなさまに、当協会の活動状況や連載コラム、ブラジル関連の最新のニュースなどホットな話題を毎月お届けしております。

今回は、当協会理事の桜井悌司氏（関西外国語大学教授）から寄稿頂きましたコラムをお届けします。

大阪にもブラジル・ブームの波か？

日本では、今ブラジル・ミニ・ブームが巻き起こっている。中国、ヴェトナム、インドへの進出は、まさにブームと言えよう。それらと比較するとブラジルの場合、ミニ・ブームくらいと言えようか。１９６０年代後半から７０年代にかけて、「ブラジルの奇跡」と呼ばれる時期があり、５００社にのぼる日本企業がブラジルに進出した。その後、８０年代は、ブラジル経済の停滞があり、９０年代は、バブル経済の崩壊によって、日伯経済関係は大いに停滞した。所謂失われた２０年である。この期間に進出した日本企業も２００社以上が撤退した。今のブームは、その時代に比べると、小規模である。

【サンパウロのイタリアビルからコパンビルを望む】

今、ブラジルは経済も好調で、英国の調査機関が昨年末に発表した情報によると、２０１１年には英国を追い越し、世界第６位の経済大国になったという。ＢＲＩＣＳの一員、Ｇ－２０の重要なメンバー、世界での存在感を高めている。Ｇ－２０の中には、他にメキシコもアルゼンチンもメンバーである。ラテンアメリカが世界で注目されていることが理解できよう。

さて、現在の日本におけるブラジル・ミニ・ブームについて見てみよう。昨年、日本の主要新聞が相次いでブラジル特集号を発行した。日本経済新聞、朝日新聞は大きなページをさいてブラジル特集号を掲載した。産経新聞は２０回にわたって超特大ブラジル特集を組んだ。また主要経済誌の「東洋経済」や「エコノミスト」も注目すべき特集号を発行した。以前と比べて、日本の新聞のブラジル関係記事は驚くほど増加している。

東京では、在日ブラジル大使館、ジェトロ（日本貿易振興機構）、ＪＢＩＣ（国際協力銀行）などが、「ブラジル経済・投資・ビジネスセミナー」を数多く開催した。ここ大阪でも、私が把握している限り、昨年１年間だけで、何と７回も開催された。大阪商工会議所、日本貿易振興機構、産経新聞、

東洋経済、ブラジル銀行、民間企業などが独自に開催したのである。しかも出席者が１００名を超えるセミナーも複数回あった。私が、ジェトロ・サンパウロ所長時代の２００５年に、ジェトロ大阪本部にブラジルセミナーの開催を依頼したところ、出席者を集める自信がないということで断られたことが夢のようである。そのセミナーは、何とかブラジル日本商工会議所の協力で８０名を上回る出席者を確保し、ホッとしたことを思い出す。また大阪府も昨年秋に、ジェトロと協力してブラジルへミッションを派遣した。

私がブラジルに駐在していた時代（２００３年１１月～２００６年３月）には、日本企業のブラジル関心度は、ほぼゼロに近く、日本企業のジェトロ訪問も非常に少なかった。そこで日伯の経済関係を緊密化するためにどうすればいいかというテーマにつき真剣に考えた結果、ブラジルの新しいイメージを打ち出すことにした。それは、「コーヒー、サンバ、サッカーの国」から「技術の国ブラジル」に転換させるという大胆な作戦である。ブラジルには世界に誇り得る技術がある。例えば、世界第３位の航空機メーカーのエンブラエール社に代表される航空機生産技術、ペトロブラス社の石油の海底掘削技術、サトウキビから生産するエタノール技術等である。これらの情報を集中して発信した結果、種々の幸運にも恵まれ、ようやく３～４年後には日本でも相当浸透するようになった。前述の新聞・雑誌をみても新イメージの浸透度が理解できよう。ジェトロ・サンパウロの話によると、昨年１年間に、事務所を訪問した日本企業数は延べ６００社に及んだという。私の時代とは雲泥の差である。

今、橋下市長の元、大阪は大きく動き出しているが、その成否を決める重要なポイントは、いかに大阪や関西の企業が新興国とのビジネスを発展させるかである。大阪の企業は、すでに中国、タイ、ヴェトナム、インドには、着々と進出しているが、ブラジルやラテンアメリカへの進出は、大企業を除き相当遅れている。大阪の企業には、もっともっとブラジルに注目し、自分の目で実際に見てもらいたいものだ。

●略歴：桜井悌司氏●　関西外国語大学教授、大阪・サンパウロ姉妹都市協会理事
１９６７年　大阪外国語大学イスパニア語科卒業後、日本貿易振興会（ジェトロ、現日本貿易振興機構）に入会。投資交流部次長、展示事業部長、監事を歴任。海外駐在は、メキシコ、チリ、スペイン、イタリア、ブラジルに計１５年半。その間、輸出振興、輸入促進、海外投資、内国投資の４つの振興事業を経験。海外ＰＲ・展示会・博覧会事業に１３年間従事。チリ大統領よりコメンダドール勲章授与される。海外ＰＲ，展示会・博覧会、投資誘致関連レポート多数。２００８年より現職。

ブラジルやサンパウロ市に関する記事や情報を募集しています！

ニュースレターに掲載する記事や寄稿文などを大募集しております。ブラジル現地情報、イベント情報、ブラジルやサンパウロ市での旅の写真、紀行文などブラジルに関わる記事を募集しております。また、ニュースレターに関する感想や、今後掲載してほしい情報など、今後のニュースレター作成の参考にさせていただきたいと思いますので是非ご連絡ください。

(財)大阪国際交流センター　情報企画部内　姉妹都市協会担当
メール：sisterc@ih-osaka.or.jp
電話：06-6772-9670　　FAX：06-6772-9790
※メール配信の停止を希望される方は上記までご連絡下さい。